



移住・Uターンに関するお問合せ

にかほ市移住・Uターン推進協議会

[事務局]にかほ市 商工観光部 商工政策課

〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1 にかほ市役所象潟庁舎1階
TEL.0184-43-7600 FAX.0184-43-3239 Email:shoukou@city.nikaho.lg.jp

発行／令和6年9月



Nikaho ★
No.1

住みよさランキング2019
北海道・東北ブロック第1位

(東洋経済「都市データパック」編集部調べ)

にかほに住もう。

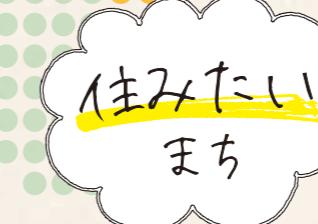
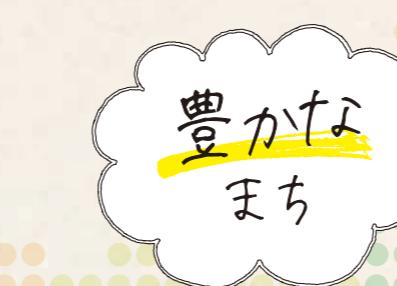


contents

- P03 にかほ市とは？！
- P05 移住者インタビュー
- P11 にかほ市に住む
- P15 にかほ市の産業
- P17 にかほ市で働く
- P19 にかほ市で育てる
- P23 にかほ市の教育
- P25 にかほ市の医療・福祉
- P26 にかほ市のイベント・芸術
- P27 移住へのステップ・相談窓口

にかほ市とは?!

鳥海山と日本海に抱かれたまち



工業集積地





海と山が見える場所で
店開きと子育てを
亀崎 真望さん
ペーター・ヴァン・ムルケン亀崎さん
2020年移住



KAMEZAKI MAMI

秋田県由利本荘市出身。高校卒業後、音楽を学びにアメリカの大学へ進学。オランダへ音楽留学した後、大学院を卒業する。2014年にペーターさんと結婚し、第一子出産後に金浦へ移住。2021年7月に「ベーカリー&ビストロ クラスト」を開業した。

きっかけ
Trigger

子育てとお店を開くために選んだ地

幼い頃からバイオリンを習っていて、高校卒業後はアメリカの大学の音楽科で学びました。21歳でオランダに短期留学したのですが、クラシックを学ぶ環境として魅力的だったのでそのまま移住したんです。大学院生の頃、バイオリニストとボーカルとして加入したバンドにペーターの友人がいて、料理担当として参加していた彼とそこで出会いました。ペーターは当時銀行員で様々な楽器を演奏でしたが、フレンチレストランでシェフをしていた経験もあったので、レコードデイning時などの食事を作っていたんです。

大学院卒業後は、イタリアやスペインのオペラやオーケストラなどのオーディションを受けて活動していました。2014年に学生結婚をしたのですが、その前に婚約パーティーをしようとした時に初めて2人で帰国した時、秋田だけでなく日本各地を巡ったんですね。将来、ペーターの飲食店を開こうと考え

ていたので、その時に訪れた飲食店にインスピレーションを受けたりして、具体的なイメージを膨らませていました。

その後、毎年日本を旅行しながらも「子育てするならどこがいいだろう?」と二人で考え、最終的には教育面

で日本に決めました。日本はオランダに比べて結果を求める教育なので、ポテンシャルを伸ばせ

ると思ったんです。そこから物件を探しに度々日本へ帰国していましたが、理想の場所を探すのは難しかったですね。



雇用から起きた海藍(みらん)君とテラスでのひととき

仕事
Working

本場欧州の味を楽しめるビストロを開業

開業に向けて本格的に動き出した2019年ころから、住宅や店舗の改修、メニューの研究を始めました。にかほ市では、定住や企業を支援する定住奨励金や創業チャレンジ補助金など支援も手厚かったので、資金面でとても助かりました。レシピの開発は、大学で食品科学を学んでいたので理論は頭にありましたし、調理も普段の生活やシェフの経験から提供には問題ありませんでした。実は、はじめはビストロをメインで考えていたのですが、一緒にお出しするハード系パンの仕入先が見つからなかったので、パンも作ることになったんです。材料入手するのもなかなか難しくて、小麦粉は福岡や佐渡から仕入れたりしています。

ペーターの出身地はオランダ南部にある都市で、隣接するドイツやフランス、イタリアの食文化にも普段から馴染んでいました。ですので、うちで提供するメニューはヨーロッパ各国の本場の味を楽しめますよ。特にハード系パンを求めて県外や外国人の方もよくお見えになって、秋田で買えることを喜んでくださるのであります。

私は2019年に「にかほ市移住リエゾン」に応募しまして、当長男を妊娠していたのですが、移住後の2020年

10月から採用となりました。でも翌年7月に開業することが決まり、両立が厳しかったので任期途中で退職させていただきました。

今年7月には次男も生まれて、4人家族になりました。朝8時には長男が保育園へ登園して、次男の育児は営業時間中も2人で交代しながらフロントの準備やスタッフへの指示、清掃など、午後6時のお迎えの時間まであらゆる作業をしていますね。ペーターはパンを焼くため朝4時から作業を始めますし、子供たちのご飯やお風呂、寝かしつけをした後に残っている作業をすることもあります。

ペーターとは以前から協力し合えるいい相性なので、子育ても仕事もなんでも一緒にやっています。コミュニケーションがよく取れているので、ぶつかることもないですね。



何気ない会話をしながら作業をする亀崎さん夫婦



ハード系パン目当てに訪れるお客様も多い



ヨーロッパ各国のメニューを作るペーターさん

お気に入り
Favorite

海と山と笑顔に囲まれて

この場所にお店を開こうと決めたのは、海と山がすぐ近くにあって、その存在感が大きく、四季が豊かだからです。ペーターは、オランダには山がないですし海沿いは高級住宅地なので、「子供の頃こんな土地に住みたかった」というくらい気に入っています。子育てについては、ペーターは自分で考える力をつけて意見を言えるようになって欲しいそうで、私は好きなことを見つけて、向いていることをさせてあげたいと思っています。

ビストロは庶民的な料理を提供する場なので、本場同様、気持ちの良いテラス席を作れたのもとても満足しています。開業して1年経ちましたが、日々、お客様との温かいふれあいに励まされていますね。



自然と温かいコミュニティ

将来的には、昼夜問わず外の空気を楽しみながら、気の合う仲間たちと集える場所として、地域の皆さんに親しんでもらえたらうれしいです。





海と山に抱かれて 自給自足の暮らしを

亀井 艶子さん夫婦

2022年移住



TSUYAKO KAMEI

大阪府大阪市出身。コールセンター勤務で経験を積む。自給自足の生活にあこがれ、夫の晋吾さんと一緒にかほ市に移住。リモートワークでテレホンアポインターの仕事をしながら田舎暮らしを楽しんでいる。

きっかけ Trigger 県内全域で物件を探し移住

大阪に生まれ、大阪で仕事をして暮らしていました。都市部は生活するのに不便はないけれども「ここではないのかもしれない」という物足りない思いがずっと心の隅にありました。そんな折、地方に移住する友人家族がいたのをきっかけに移住に興味を持ちました。頭に浮かんだのは、父親の出身地で子どもの頃からよく訪れていた秋田市河辺の自然豊かな風景。移住先を秋田にしようと思いました。

私たち夫婦は菜食を中心とした生活をしていて、食材に気を配っています。夫は秋田についてほとんど知らなかったのですが、野菜を育てるなど自給自足の生活にあこがれがあり、移住に賛成してくれました。独立した娘も、最初は一緒に行くと言ったほどで特に反対はありませんでしたね。

2018年ごろから県内全域で物件を探し、空き家の見学をしたり実際に住宅を借りたりしてきました。ところがコロナ

禍のため、大阪と秋田を行ったり来たりすることが困難になりました。思い切って仕事を整理し、ご縁のあったにかほ市金浦の空き家を購入して今年移住を果たしました。移住の際は引っ越しや住宅の購入など色々と経費がかかりましたが、にかほ市では定住奨励金や空き家の購入・家財の処分などに

補助金がありましたので費用の面でもとても助かりました。



「海も山も好き」と話すお二人

仕事
Working

働きながら住まいをリフォーム

私はコールセンター勤務の経験を生かして、県外企業のテレホンアポインターの仕事を在宅勤務でしています。1時間も通勤電車に揺られていた会社員時代と比べると、リモートワークは本当にありがたいです。空いた時間に家事をしたり、近所を散歩したりする余裕ができました。夫は製造業に勤めています。日勤と夜勤があり、平日休みの時は自宅のリフォームに精を出しています。

私たちが今一番力を入れているのは、自宅の改修です。引っ越ししてきた当初は給湯設備がなく、はじめの数ヶ月は朝お湯を沸かすことから始まりました。「大変だったで



リフォームをする晋吾さん。自宅の一室を作業場にしている



平日はリモートワークで仕事する艶子さん

しょう」と言われますが、これまでにない経験ですが、目標があるから楽しいです！

改修を終えたキッチンとダイニングのほか、4室もあり私たちには十分以上の広さです。関西の友人たちにも観光ついでに手伝ってもらう予定です。

自宅裏には畠もあり、少しづつ手を入れています。堆肥を入れ土づくりができたら、在来種を中心に有機栽培で野菜を育てたい。いずれは、育てた野菜を友人や親戚に味わってもらうのが夢です。

お気に入り
Favorite

目の前に海も山も。 恵まれた環境

数分歩くと海沿いに出ることができて、目の前には雄大な鳥海山。海も山も好きな私たちにはこの上ない環境です。海風でしょうか、いつも風が吹いているのが心地良い。ご近所を散歩するのが日課になりました。

ぶらぶら歩いていると、いろんな場所から鳥海山が見えてきれいだなあと思います。勢至公園の観音瀬では冬に白鳥がたくさん見られます。近所の軒先に何気なく咲く花



がきれいで、季節を感じさせてくれます。

周囲の人たちのあたたかな人柄にも助けられています。引っ越し



してきた私たちに声を掛けてくれて、ご近所付き合いも増えてきました。出かけた先で知らない人同士あいさつしたり、中高生が道端であいさつしてくれたりするのも、私たちにはこれまでなかった体験です。ここでは当たり前のこともされませんが、本当にうれしく思いました。少しづつ知り合いを増やして、地域の一員になっていきたいと思います。



花に向き合い、 大自然と共に暮らす

佐々木 学さん

2017年移住



SASAKI MANABU

秋田県にかほ市象潟町出身。秋田市内の大学を卒業後、宮城や東京で約20年働く。地元の農村風景への懐かしさが募ったことと、高齢になった両親のために2017年にUターン。2019年から就農し、菊を生産している。

きっかけ Trigger

せっかくなら、田舎らしさを楽しもう！

私は、秋田市内の大学を卒業後、都会で暮らし始めました。最初は宮城、その後に東京で働きましたが、満員電車に揺られる生活の中でふと、高齢になる両親が心配になりました。地元の畑の風景を思い出したりして…。だんだんと、「いつかは地元に帰ってのんびり暮らしたい。せっかくなら田舎らしさを楽しめる農業をやってみたい」という思いが高まっていました。

その後、情報を集める中で、新規就農者を増やすために行われる「新・農業人フェア」を訪れたのがターニングポイントになりました。フェアの中で秋田県農業公社の方に勧められた、2泊3日の農業体験ツアーに参加したところ、いろんな農業の様子を実際に見てイメージが湧き、就農を決意できました。2017年には地元に戻り、新規就農者のための「未来農業のフロンティア育成研修」を2年間受講して、

花き農家になりました。都会での仕事は接客業がメインだったので、「ものを作る楽しさ」に惹かれたことも大きかったと今になって思っています。



地元JAの職員さんと農業談義



仕事
Working

ちゃんと儲かる、達成感もある農業

農業の中でも、私は菊を栽培しています。最初はたくさんの品目を栽培することに憧れていたんですが、にかほの園芸メガ団地（現在8名）に参加しないかと声がかかって、花をやることになりました。農業は稼げないというイメージを持つ人もいると思いますが、菊はすごく儲かるんです！お盆やお彼岸の必需品ですからね。その時期にはばっちり合わせて咲かせないと途端に値段が急落してしまうので、注意して栽培しています。残念なところは、食べられないことですね。

4月から11月までは、休みなく菊に向き合う日々を送っています。朝露に濡れたまま収穫すると菊が腐ってしまうので、乾き始める朝8時くらいから収穫作業をスタートし、60アールの畠と、80坪のハウス2棟とで栽培する20万本弱を全て収穫できるように、シルバー人材センターの人や近所



佐々木さんが菊を育てるハウス

の人に手伝ってもらっています。炎天下での作業なので、頼む時は「暑さに強い人をお願いします」と言っているくらいです。また、にかほ市のJAが出荷場を整備していて、そこに菊を持っていくと箱詰めして出荷してくれるので、栽培と収穫に集中でき本当に助かっています。冬になる前に、畠の片付けと、来年の苗を育てる作業を終わらせて、その年の作業は終了となります。

のんびり暮らしたいと思って農業を始めましたが、結局、毎日忙しい日々を送っていますね。ただ、達成感を至るところで感じることができます。草取りを綺麗にできた時や、すべて期間内に収穫できた時なんかは嬉しいです。「手をかけた分だけいいものができる」と農家の先輩から聞いていたように、確かにさまざまな場面で満足感を感じられる仕事です。



ハウス内は、収穫を待つ菊がぎっしり！



菊は、お盆とお彼岸の必需品

お気に入り
Favorite

家族と楽しむ、「すぐそこ」にある大自然

にかほ市は、自然災害が少なく、雪も少ないので過ごしやすいと思います。農業を営む者としては、そこはとても重要ですね。

そして、初めて農業をやる人には相当手厚い支援を受けられるのも魅力です。私自身、自己資金ゼロから始めたんですよ！農業の知識もありませんでしたが、報酬をもらいながら農業研修を2年間受けられる制度や、トラクターを無償で貸してもらえる補助を活用して始めることができました。にかほ市には新規就農者のアドバイザーがいますし、ハウスの圃場探しや税金の申告の仕方などを教えてくれる方もいます。移住を検討している方は、公的なサポートが整っているのでは相談してみるといいと思います。

そして何より、両親と一緒に暮らせてよかったです。父と母から「戻ってきてもらえて、色々助かるよ」と言ってもらっていますし、農作業が終わった夕方に、両親と近所を散歩して

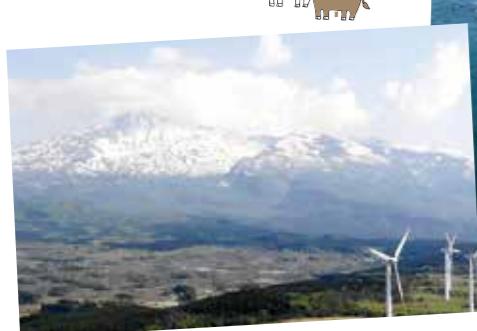


過ごす時間には幸せを感じます。家から海まで徒歩数分で、鳥海山にも30分以内に行けるので、「今日はちょっと鳥海山を通って帰ろう」とドライブすることだってできちゃいます。親戚には漁師がいて、余った魚をもらったりすることも。まさに「海と山のまち」だと思います！



にかほ市に住む

山と海が楽しめて、冬も暮らしやすい！

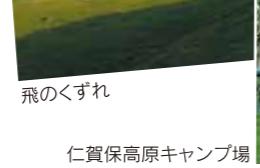


穏やかな
気候が自慢！



(気温／日平均 観測地点:にかほ、降雪量／月合計 観測地点:本荘)

| 2019年 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---------|-----|-----|-----|-----|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| 気温(℃) | 2.6 | 3.3 | 6.4 | 9.4 | 16.2 | 19.5 | 23.8 | 26.4 | 22.4 | 16.9 | 10.0 | 6.2 |
| 降雪量(cm) | 72 | 56 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |



子育て家族が
遊べるスポット



ダイナミックな自然の中に、便利な都市機能

日本海

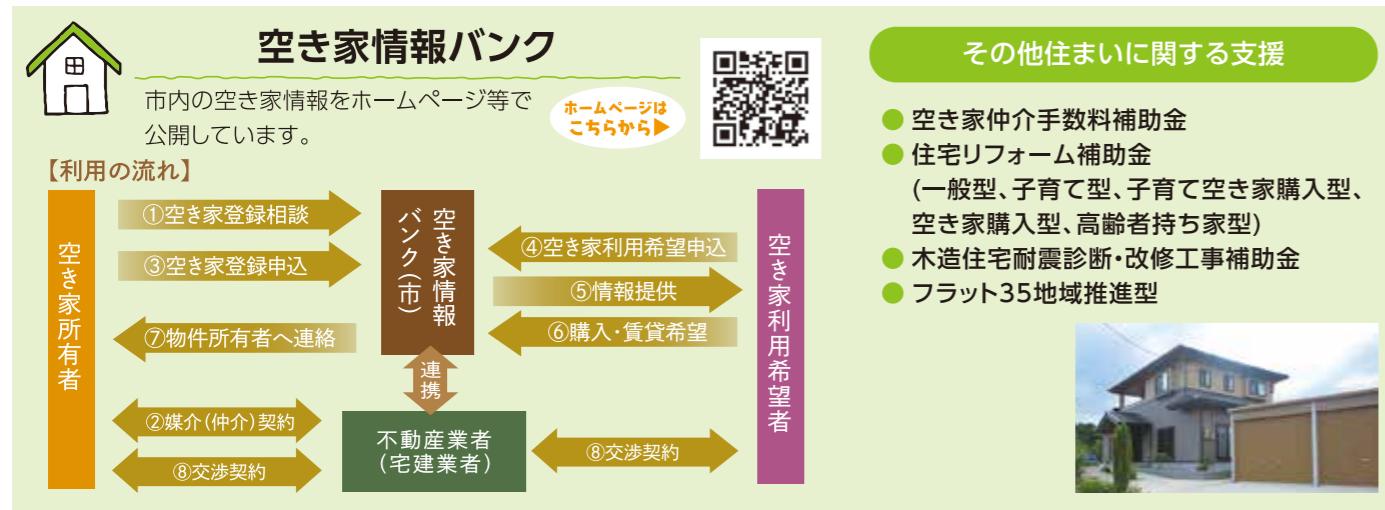


田舎に住むならやっぱり一軒家! 戸建住宅



持ち家住宅率 89.4%
[全国 61.2%]

(出典) 総務省統計局
「平成30年住宅・土地統計調査」



おすすめ支援 1 定住奨励金

交付対象者
転入直前の3年間県外に居住し、転入前に移住希望者登録、または転入後に移住者登録をした方のうち、1年以内に住宅を購入または民間賃貸住宅に居住し、50歳未満の方がいる世帯

交付金額
交付対象者1人あたり 10万円・最大30万円交付!
+さらに
対象者のうち住宅を購入した方には 固定資産税3年分相当額として20万円を交付!

おすすめ支援 2 若者夫婦・子育て世帯 空き家購入奨励金

交付対象者

- にかほ市空き家情報登録制度による利用希望登録者
- 夫婦のいずれもが40歳未満の世帯又は18歳以下の子供がいる子育て世帯
- 平成31年4月1日以降に空き家情報バンクに登録されている空き家を取得し、当該空き家について持分割合が2分の1以上の所有権を有する者
- 取得した空き家に住所を有する者

交付金額
最大50万円を交付

単身・少人数世帯におすすめの賃貸物件も! 賃貸住宅



公営住宅

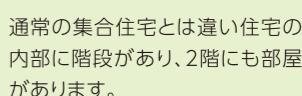
集合型の市営住宅が300戸、戸建型の特定住宅が11戸あります。一部の市営住宅はメゾネット式となっていて小さなお子様がいる世帯におすすめです。

建設課 TEL.0184-38-4307



メゾネット式

戸建て(特定住宅)



通常の集合住宅とは違う住宅の内部に階段があり、2階にも部屋があります。

木造平屋の3LDKタイプと木造2階の4LDKタイプがありますので、家族が多い方でも安心です。

おすすめ支援 3 若者・子育て移住世帯家賃補助金

交付対象者

補助金額

補助対象期間 12か月



おすすめ支援 4 移住定住促進住宅

集合住宅タイプの公営住宅のうち5部屋を、にかほ市で実際に生活しながら定住用の住宅を探す間、賃貸住宅としてご利用いただけるようになりました!

貸付期間 1年間(更新あり・最長3年間)

利用料 21,600円~21,900円 詳しくはこちら

駐車場料金 2,000円/月 (1台分・最大2台まで)

敷金 家賃3か月分



**住まいに関する助成制度は
こちらのHPから▶**

QRコード

ものづくりのまちを代表する製造業と新たな産業の誕生 製造業

にかほ市は、TDK株式会社の創業者が生まれた地。県下屈指の工業集積地であり、「ものづくり」のまちとして製造業が盛んな地域です。就業人口の約3割が製造業に従事し、電子部品や生産用機械では、秋田県及び東北地方でトップ級の出荷額を誇っています。



新産業

にかほ市では、クライアント企業の仕事を引き受け、付加価値をプラスしてサービスを提供するBPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)事業や、新エネルギー分野の一つである風力発電施設(風車)のメンテナンス事業など、新たな産業が生まれてきています。



鳥海山と日本海の豊富な恵みがもたらす農林水産業 農業

鳥海山の麓に広がる田畠では、土づくり実証米などの良質な米をはじめ、ネギなどの野菜類の生産も盛んに行われています。近年は、小菊など花き類を生産する「園芸メガ団地」が整備され、若手農業者が活躍しています。また、甘露煮などの特産品で有名な北限のいちじくの生産拡大も図られています。



漁業



にかほ市内には、4つの漁港が点在し、底引き網漁などにより、日本海の旬な魚が豊富に水揚げされています。鳥海山からのミネラル豊富な伏流水の恵みが詰まった岩ガキは夏の風物詩。冬のハタハタやタラも特産品として有名です。

林業

植栽、下刈り、間伐などの保育業務による健全な森林整備や、人工林の利活用が行われています。適切に整備されることで、大気保全等による環境対策や、土砂崩壊防止等による災害対策などにも大きな役割を果たしています。





子供達の成長を見ることが原動力

教諭 佐藤 和歌子さん

主人と共に新潟で教員をしておりましたが、以前から主人が地元へ帰ることを望んでいたので、2020年の第二子出産後に移住を決意しました。その後、新潟県の教員を退職し、こちらに来てからは主人の両親の協力も得ながら育児をしていました。

でもやっぱり教員に戻りたいと思い、教員採用試験に挑戦しました。合格が分かり、いよいよ秋田県での教員生活が始まると心待ちにする反面、秋田の学校の様子が分からず、不安な気持ちもありました。そのような時に、広報で知った「学校生活・学習サポート」へ応募し、昨年12月からは象潟小学校に勤務していました。にかほ市で、育児をしながら仕事復帰できたことが嬉しかったです。

今年度からは由利本荘市の小友小学校で2年生の担任をしています。常に心がけていることは、子供達の話をよく聞き、できるだけ一緒に遊ぶこと。自分が関わることで子供達に成長が見られると、先生をやっていて良かったなと思います。学生時代に水泳選手兼コーチをしていたこともあるので、子供達に水泳の楽しさを伝え続けていきたいです。



働きやすい職場環境を目指して

介護施設事務 大澤 潤子さん

母親の健康面を考慮したことと主人の転職を機に、おととし頃に埼玉から地元へのAターン就職を考え始めました。主人もそのことに前向きで、子ども達に「引っ越すと猫が飼える」「海が近い」など話してくれたおかげで、わりとすんなり引越しが決まりました。

前職も介護事務で約8年の実務経験がありましたので、移住後に同じ職種をハローワークで探したところ、今の職場である総合介護福祉施設「ハーモニア・にかほ」を紹介してもらいました。仕事は、会社全体の資金繰りの管理や利用者さんの請求処理、従業員の労務管理などの経理・総務全般です。

経営に関わるさまざまな業務を任されてるので、やりがいはありますね。弊社はまだ若い会社なので、働きやすい環境づくりのために就業規則を整備することは、これからますます大事になってくると思います。そして育児や介護をしながら働ける職場を目指して、若い世代の人材を育てていきたいです。



仕事と子育てを両立

薬局スタッフ 畠山 涼子さん

県外に住んでいましたが夫を亡くし、4年前に実家のあるにかほ市にUターンしました。2人の子どもが幼く、祖父母の力も借りて子育てしたいと思ったからです。しばらく古里でゆっくりしようと思っていたところ、「帰ってきているなら仕事してみないか」と知人を通じて声を掛けていただきました。間もなく「つちだ調剤薬局」に勤めることになりました。

薬局では事務を担当しており、受付業務のほか伝票の作成や薬剤師の指示で調剤の補助をしています。週末は休みで平日の残業もありません。子育てする上で本当に恵まれていると思います。また、子育て中のスタッフが多いため、学校行事などに出られるよう勤務をお互いに調整できるものがあります。

にかほ市は子どもの医療費が無料で、働くシングルマザーへの支援も手厚いと感じています。仕事と子育てを両立できるのは、勤務先の理解があり、地元ならではのあたたかいつながりがあるおかげだと思います。

やりがいのある仕事が見つかるまち

その他就農に関する支援

新規就農育成総合対策 ※

● 就農準備資金

就農準備資金県等の研修機関で1年以上研修を受講した方に**12.5万円/月を最長2年間交付**

● 経営開始資金

就農後の資金として**12.5万円/月を最長3年間交付**

● 経営発展支援事業

新規就農者の機械・施設等の導入を支援
補助率は**最大で国1/2、県1/4**

秋田アグリフロンティア育成研修事業 ※

● 県内の試験場で2年間農業技術を研修

● 就農準備資金と併用可能

● 就農準備資金に該当しない方には**10万円/月の補助金を交付**

秋田しんせい農協新規就農者支援研修制度 ※

● JAの研修施設で、シャインマスカットやアスパラガスの栽培技術を**最長2年間研修**

● 就農準備資金と併用可能

● 就農準備資金を活用しない場合はJAとの雇用契約による賃金支給も可能

就農アドバイザー事業 ※

専門知識を持ったアドバイザーが就農準備、就農後の農業技術や経営、農地確保等を**無償でサポート**

※それぞれの事業で要件があります。要件の詳細はお問い合わせください。

移住・就業支援事業

次の1、2の要件を満たして就業された方へ

●**家族で移住…100万円** ※18歳未満の子どもと同居の場合は一人当たり100万円

●**単身で移住…60万円** を交付します!

[1 居住要件] 過去10年のうち通算5年以上、うち連続して1年以上東京23区内に在住又は東京23区内への通勤を行った方で、にかほ市に移住した方

[2 就業要件] 次の要件のいずれかに該当する方

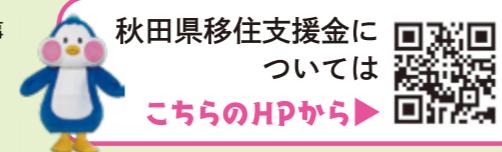
● 秋田県の移住支援金の対象として掲載する求人に新規就業した方

● 秋田県の起業支援金(地域課題解決枠)の交付決定を受けた方

● 国が実施するプロフェッショナル人材事業又は先導的人材マッチング事業を利用して就業した方

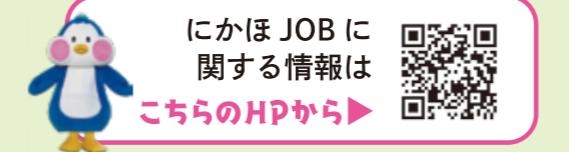
● 移住元での業務をテレワークで引き続き行う方

● 市の関係人口と認められる方



にかほ市無料職業紹介所「にかほJOB」

にかほ市に移住を希望する求職者に対し、就職相談や求人情報の提供、市内企業等の職業紹介を行います。



【その他仕事に関する支援】

● 起業・創業相談支援事業

● 創業アシスト補助金

● 創業資金融資あっせん

● 奨学金貸付制度

● 奨学金返還助成制度

● 就業資格取得助成事業補助金

● 林業トップランナー養成研修支援事業

地域子育て支援センターを利用している方に聞きました！



interview 01

出身は宮城県で、結婚してにかほ市へ来ました。初めての子育てですが、にかほ市は子育てがしやすい環境だと思います。医療費も無料なので、気軽に病院に行けるのもいいですね。こちらに来た当初は知り合いがいなかったのですが、市の行事で知り合ったお母さんと友だちになり、最近は一緒に遊びに行くようになりました。



interview 02

にかほ市は子育て支援センターのように保育園や幼稚園に入っていない子どもたちが遊びに行ける場所がたくさんあります。いろいろな面で子育てがしやすいと感じています。センターでは、先生たちが遊んでくれるだけでなく、親の悩みも聞いてくれるので、とてもありがとうございます。



interview 03

象潟地域子育て支援センターの「親と子のニコニコクラブ」に入っています。月1回程度イベントに参加しています。ここに来ると、家ではできないことを子どもに体験させてあげられるし、普段ふれあえないような方とも出会わせてあげることができるので、子どもにとって必要な場所だと思います。にぎやかでアットホームな雰囲気で子どもを連れてきやすいのもうれしいです。

interview 04

実家は横手市で、結婚して夫の実家があるにかほ市へ引っ越してきました。子どもが2人いて、子育て支援センターは1人目の時から利用しています。子育てをしていると、食事のことなど不安や悩みが次から次へと出てきます。そんな時はここに来て、分からないことを他のお母さんや先生に聞いてみたりすることも。自分の気分転換にもなるし、貴重な場所だと感じています。



地域子育て支援センターの担当者から一言

子育てに関する保護者の方の悩みを気軽に相談していただける場所として、子育て支援センターを設けています。これからも様々なニーズに応えられるよう相談体制やイベント等を充実させていきたいです。



こども家庭センター
センター長 三浦 晶子さん



子どもと子育て世代を応援するまち



おすすめ支援 1 福祉医療費助成（マル福）

赤ちゃんから高校生までの

医療費が無料

所得制限なし



おすすめ支援 2 保育所・認定こども園の保育料無償

0歳児から5歳児までの

保育料の完全無償化

所得制限なし



【その他子育てに関する事業】

- 任意予防接種事業
- フッ化物洗口実施事業
- すこやか子だから祝金
- 不妊・不育症治療費助成事業
- 一時預かり事業利用補助
- 子育てファミリー支援事業
- 妊産婦医療費助成事業
- 副食費(3歳以上)全額負担



子育てに関する支援は
こちらのHPから▶



妊娠・出産から子育てまで 切れ目のない支援

産前・産後の
サポート

にかほ市ネウボラ「あのね」



金浦保健センター内に「あのね、○○について聞きたいな・相談したいな」と気軽に訪れて相談できる場所があります。保健師・助産師・栄養士・臨床心理士が妊娠期から子育て期までの相談に応じます。

お母さん・お父さんの健康のこと、妊娠・出産・育児のこと、話を聞いて欲しい時など、ぜひお気軽にご利用ください。

- 妊娠届時の全員面接と支援プランの作成
- 産前のサポート事業
- 産後のサポート事業
- 子育て相談「あのね」



こども家庭センター(金浦保健センター内) TEL.0184-38-4200

親子の交流・
育児のサポート

地域子育て支援センター



親子の交流や育児に関する相談・援助、楽しいイベントを行っています。にかほ市で初めて子育てを行うパパ・ママも気軽にご利用できます

- ① 仁賀保地域子育て支援センター (にかほ保育園内)
TEL.0184-32-3200
- ② 金浦地域子育て支援センター (勢至保育園内)
TEL.0184-38-2291
- ③ 象潟地域子育て支援センター (象潟保健センター内)
TEL.0184-74-6204
- ④ 象潟上郷地域子育て支援センター (星城こども園内)
TEL.0184-44-2314



【ボランティア】

- 子育てサークル「まんまる」
- おもちゃボランティア「メルヘン」

広々とした環境で
のびのび保育

保育所・認定こども園



にかほ市の保育機関の数

保育所.....4園
認定こども園.....4園

共働き世帯も
安心!

学童保育クラブ



小学生を対象に、放課後や長期の休み期間中、支援員や友だちと過ごせる場所が、市内に7か所ありますので、就労で保護者等が不在の子どもも安心して放課後を過ごすことができます。



子育て施設に
に関する情報は
こちらのHPから▶



学力全国トップクラスの環境で学ぶ



秋田の子どもの学力は 全国トップクラス!

文部科学省で毎年実施される「全国学力・学習状況調査」では、平成19年度の開始以来、秋田県の子どもたちが全国上位の成績を維持して、注目を集めています。秋田県では、応用力を身につける「課題解決型・探求型授業」や「家庭学習ノート」の活用を推進して、自ら学ぶ楽しさを引き出しています。にかほ市にも毎年、全国各地から教員が研修に訪れています。

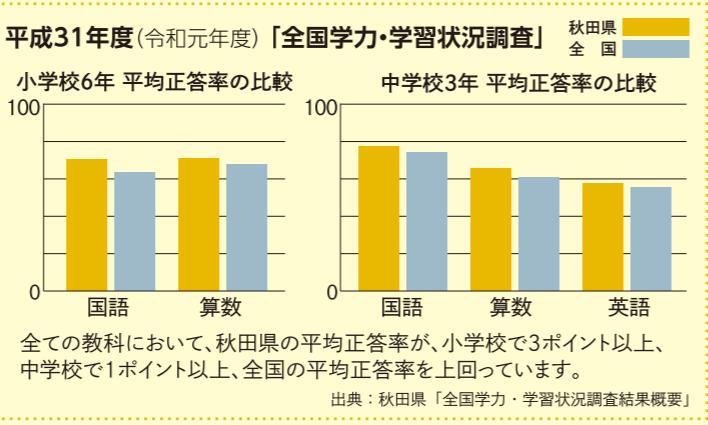
地域密着型の授業「にかほ地域学」

にかほ市の人・もの・ことについて積極的に関わり、楽しく学べる学習プログラムです。「歴史・文化」「ジオア」「最新科学」「防災教育」を柱とし、地域の魅力を知ることで、ふるさとへの愛着を深めています。

【にかほ地域学 授業の一例】

- ・鳥海山の植物の学習
- ・竹嶋潟カヌー体験
- ・豆腐作り体験
- ・池田修三木版画ワークショップ
- ・ロボコン教室
- ・フェライト移動教室
- ・避難訓練と保護者引渡
- ・自然災害とともに生きる

教育に
関する支援は
こちらのHPから▶



ベテラン教師による学習指導

理科、算数・数学、英語教育の充実を図るために、教科指導に卓越した力のある教育専門監や退職した教員を教育指導員として学校に配置。また、学校生活・学習サポート支援員を、児童生徒数の割合に対しても多く配置しているので、困った時はいつでも相談できる体制です。さらに、デジタル教科書の活用やタブレットの導入なども積極的に取り組んでいます。



全国的にもめずらしい 「情報メディア科」がある仁賀保高校

全国でも20校しか設置されていない、情報に関する基礎・基本から専門的な分野までを学習する「情報メディア科」が特徴の高校です。情報産業分野で実践的に活躍できる人材を育成しています。

【情報メディア科の内容】

- ① CGデザインコース
3DCGや映像編集など、コンテンツ制作に携わるクリエイターを育成。
- ② Netシステムコース
ネットワークやプログラミングを学び、ネットワーク技術者やプログラマーを育成。



▲生徒がデザインしたポスター

仁賀保高校に
関する情報は
こちらのHPから▶



TDK歴史みらい館



TDK(株)の創設者・齋藤憲三氏の生誕100年を記念してつくられた科学のミュージアム。「ふしぎだな」と感じる子どもたちの好奇心を刺激します。



象潟郷土資料館



にかほ市金浦出身の南極探検隊長・白瀬轟と隊員たちが、明治後期に日本人として初めて挑戦した南極探検の資料を展示する、探検と極地のミュージアム。オーロラの映像を体感できます。



白瀬南極探検隊記念館



TDK(株)の創設者・齋藤憲三氏の生誕100年を記念してつくられた科学のミュージアム。「ふしぎだな」と感じる子どもたちの好奇心を刺激します。



「おくのはそ道」でにかほ市象潟を訪れた俳聖・松尾芭蕉ゆかりの資料や、近年全国的に注目されている木版画家・池田修三の、子どもたちの情景を中心とした作品が展示されています。



にかほ市の 医療・福祉

赤ちゃんからお年寄りまで安心して暮らせるまち



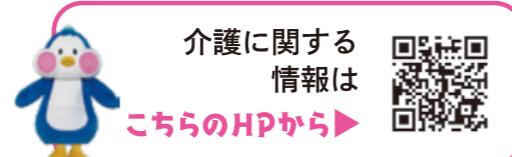
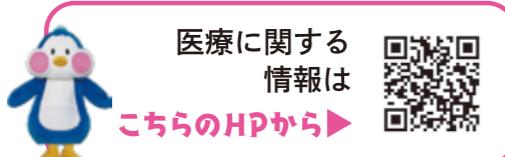
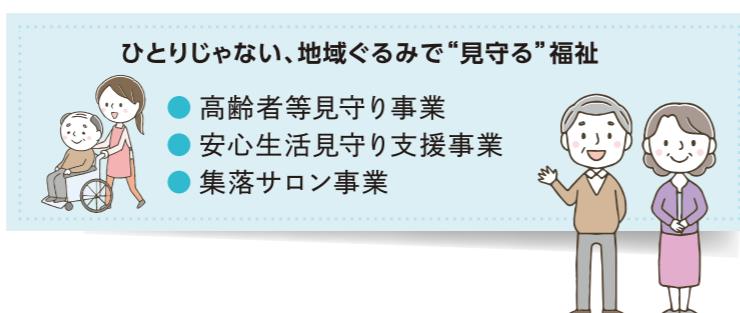
地域連携の医療システム

にかほ市では、近隣の由利本荘市にある3つの総合病院と「地域医療連携」を行っており、夜間・救急時などに対応しています。日常的な診療や健康管理は、かかりつけ医のいるにかほ市内の病院・診療所へ。専門的な検査や手術・入院治療は市外の総合病院へ。主治医もそれぞれの地域で連携しています。
また、にかほ市内の医療機関が当番制で対応する休日当番医がいますので、休日も安心です。



充実の福祉サービス

にかほ市には、グランドゴルフ場や温水プール、トレンジングルームなど、日々の健康管理に役立つ運動施設が揃っています。また、70歳以上の方は、月2回、温泉・入浴施設での無料入浴もできます。福祉施設や在宅介護サービスが充実しているので、一人暮らしの高齢者も安心です。



にかほ市の イベント・芸術

豊かな地域性を活かしたイベントと魅力的な芸術



にかほ市花火大会

場所/象潟海水浴場 開催日/8月

伝統ある洋上花火は、にかほの夏の風物詩。海中へ打ち込まれるスターマインは、半円形に開き、海面に映ってきれいに見えます。音楽に合わせて打上げられる花火と日本海に映る花火で夏の夜空を音と光で彩るエンターテイメントショーです。



掛け魚まつり(別名:タラまつり)

場所/金浦山神社・勢至公園 開催日/2月4日

掛け魚(かけよ)とは、漁師が氏神様にお供えする魚のことで、祭りの主役となる寒鰯は一匹ずつ荒縄に釣り下げられ、海上安全、豊漁を願って金浦山神社の神前に供えられます。



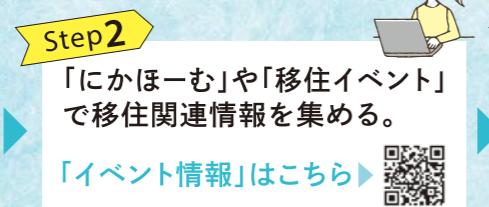
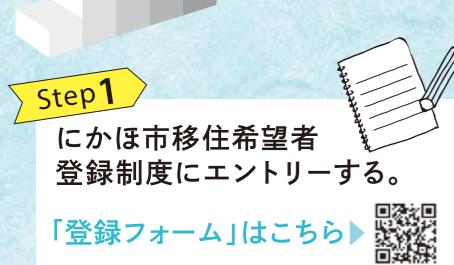
池田修三作品

象潟町(現にかほ市)生まれの木版画家。初期12年間のモノクロ版画を経て、多色摺りに移行しました。ピュアでメルヘンチックな子どもたちの情景を中心とした画風で、晩年は郷愁あふれる風景画も手がけ、多くのファンを魅了しています。企業のカレンダーやティッシュカード、単行本の装丁等にも作品が採用され人気を博しました。近年、秋田県の情報誌「のんびり」で紹介されて以来、作品が再評価され、全国で人気が高まっています。



にかほ市へ！移住へのステップ

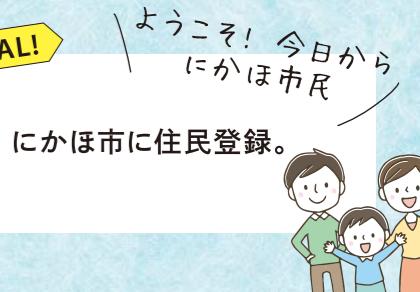
移住前に活用できる制度について



初めてここにやってくる人にも、ふるさとへ帰ってくる人にも、

秋田県やにかほ市に関心を持っていただけるのは、本当に嬉しいこと。

仕事や住まいの情報など、移住前に知っておくと便利な支援制度をぜひご活用ください。



にかほ市移住希望者登録制度

にかほ市への移住を希望している登録者に対してにかほ市の様々な情報を郵送またはメール等により提供します。

- 移住・Uターン情報(支援制度、補助金等)
- 仕事情報(就職、起業・創業支援、農林水産業)
- 住まいの情報(空き家情報バンク、市営住宅等)
- 行政情報
- イベント情報(首都圏等でのイベント情報等)
- 地域・自然情報(観光イベント、市内の行事等)

移住・Uターン・お仕事支援 ポータルサイト「にかほーむ」

移住・Uターンを考える際に必要となる生活情報や、お仕事情報、各種支援制度等が満載。移住を考えている方はぜひご覧ください。



www.nikahome.jp

移住イベントで情報収集・個別相談

にかほ市は、首都圏等で移住相談会を開催したり、関係機関が主催する移住イベントに参加しています。移住相談会等では、市の魅力や特色のPR、移住を考えている方との個別相談を実施し、移住に関する支援制度など様々な情報提供を行っています。



お試し移住体験

にかほ市の自然環境、生活環境に少しでも慣れてもらい、移住へのステップとして頂くため、お試し移住体験ツアーを実施しています。「にかほーむ」で参加者を募集しており、移住希望者登録した方で、ツアーに参加する世帯には、参加に要した費用の一部を補助します。



お試し移住体験住宅

高速光回線対応で、リモートワーク・ワーケーションにもおすすめ！

にかほ暮らしに興味はあるけど、いきなり移住することに不安がある方や、移住を検討している方、にかほ市内の事業所で就職活動を行う求職者などにおすすめの移住体験施設を貸出しています。



お試し移住体験住宅（金浦・下山）

利用期間 2泊3日以上・最長6泊7日

利用料 1日1,000円（光熱水費込）



お試し移住体験住宅
に関する情報は
こちらのHPから▶



移住者支援住宅 子育て世帯におすすめ！

にかほ市に移住し、実際に生活しながら住宅等を探すなど定住に向けた準備をする子育て世帯に期間限定で居住できる移住施設を貸出しています。



移住者支援住宅（金浦・象潟・下山・仁賀保）

利用期間 1年 ※更新あり・最長3年間

月額35,000円（金浦） 月額35,000円（象潟）

月額35,000円（下山）

月額65,000円（仁賀保） ※子ども一人当たり5,000円減額（下限55,000円）



移住者支援住宅
に関する情報は
こちらのHPから▶



？ 移住に関するQ&A

よくある質問をまとめました

くらしに関する質問

？ 医療環境や介護環境について教えてください。

市内には内科や小児科などの医院・診療所があり、市民の健康を支えています。近隣地域にある総合病院では、夜間や緊急時の受診が可能です。また、介護サービスや介護施設も充実していますので、介護等が必要な高齢の方でも安心して生活することができます。

住まいに関する質問

？ 空き家は紹介してもらえますか？

「にかほ市空き家情報バンク」や、民間の不動産会社が市内の空き家を紹介しています。ただし、空き家情報バンクでは空き家の情報提供等は行っておりません、空き家所有者と空き家利用者との交渉や斡旋などはしておりません。

仕事に関する質問

？ 市内の就職先を探す場合、どこで求人情報をみたり、相談したりできますか？

にかほ市では、移住希望者を対象にハローワークと同様に就職相談や職業紹介等を行う無料職業紹介所を開設しておりますので、ぜひご利用ください。また、市内企業との採用面接やインターンシップを行った際の交通費等の一部を補助しています。

子育て・教育に関する質問

？ 子どもたちの教育環境はどうでしょうか？

市内には、8つの保育園・認定こども園、4つの小学校、3つの中学校と1つの高等学校があります。地域によって生徒数などに大きな違いはありますが、それぞれに特色があり、子どもたちを温かく大切に見守り育っていく教育環境となっています。

その他に関する質問

？ 移住についてどこに相談すればいいですか？

にかほ市商工政策課がワンストップ窓口として、市外からにかほ市への移住に関するご相談を承ります。にかほ市にお越しの際には、にかほ市役所商工政策課窓口で直接、ご相談を承ることもできますので、ご希望の訪問日時を事前にお問い合わせください。

？ 交通機関について教えてください。また、自家用車は必要ですか？

市内ではバスや電車などを利用することができますが、都会に比べると公共交通機関が充実していない為、日常生活における自家用車の必要性が高いです。

？ 住まいに関する助成・補助金等はありますか？

住宅を取得する方には、「定住奨励金」「若者夫婦・子育て世帯空き家購入奨励金」があります。また、賃貸物件に入居される方には、「若者・子育て移住世帯家賃補助金」がありますので、P13～14をご覧ください。

？ 農業や起業したいと思っていますが、どのような支援がありますか？

農業や起業・創業に関する支援については、補助金や融資、相談・研修支援などがありますので、P18をご覧ください。

？ 子育て支援策を教えてください。

にかほ市は、医療費や保育料の助成など子育て世帯に対する支援が充実しております。妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援体制がありますので、安心して子育てができます。その他の支援等については、P19～22をご覧ください。

？ 移住体験イベントはありますか？

にかほ市では、オーダーメイドお試し移住体験ツアーを随時受付しております。実施については、ポータルサイト「にかほーむ」にて周知・募集を行っていますので、ご確認ください。

移住・Uターンに関する相談はこちら

ワンストップでの相談対応・サポート

にかほ市移住リエゾン～移住希望者とにかく市との橋渡し役～



移住リエゾンの皆さん(左から石井・小林・鈴木)

移住リエゾンがにかほ市の魅力や移住・定住に関する最新情報を発信しています!

にかほーむ
Twitterページ



にかほーむ
facebookページ



にかほーむ
Instagramページ



にかほーむ
YouTubeページ



相談日 月曜日～金曜日(祝日及び年末年始休暇除く)

相談時間 8:30～17:15

場所 〒018-0192
秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1
にかほ市役所象潟庁舎

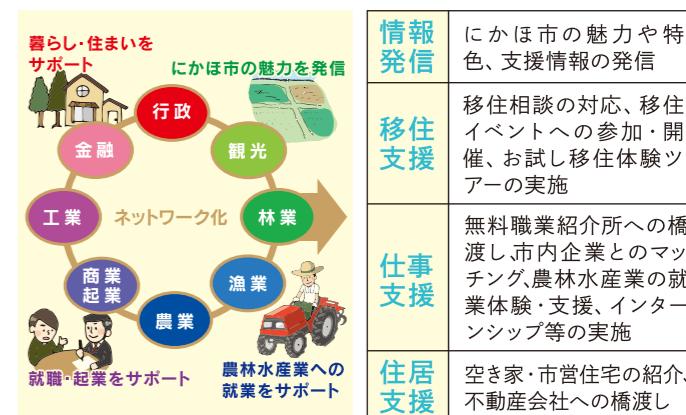
連絡先 TEL: 0184-43-7600
FAX: 0184-43-3239
E-mail: shoukou@city.nikaho.lg.jp



移住後の生活もサポートするため、移住リエゾンや先輩移住者さんとのコラボ移住者と地域住民の交流会イベントも随時開催しています!



にかほ市移住・Uターン推進協議会 【事務局】にかほ市商工政策課



にかほ市への交通アクセス



JR新幹線・在来線をご利用の場合

| | | | |
|----|-----------------|----|-----|
| 東京 | 上越新幹線経由 約4時間50分 | 新潟 | にかほ |
| 酒田 | 羽越本線 約40分 | | |
| 秋田 | 羽越本線 約60分 | | |

自家用車をご利用の場合

| | | | |
|----|----------------------|-----|--|
| 秋田 | 67km(国道7号) 約1時間5分 | にかほ | |
| 酒田 | 39km(国道7号) 約45分 | | |
| 横手 | 86km(国道107号) 約1時間25分 | | |
| 大曲 | 81km(国道105号) 約1時間20分 | | |

航空機をご利用の場合

| | | | |
|----------|------|--------|------|
| 札幌(千歳) | 約55分 | にかほ | |
| 東京(羽田) | 約55分 | | |
| 名古屋(名古屋) | 約80分 | | |
| 大阪(伊丹) | 約70分 | | |
| 東京(羽田) | 約55分 | [庄内空港] | 約60分 |